

様式第1号（第5条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

2019年 10月 30日

和泉市長 あて

団体名 まちセミ・IZUMI 実行委員会

代表者名 新田 良子

所在地

電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 まちセミ・IZUMI 2020
2. 事業の概要 誰でも先生、誰でも生徒に。
同じ教室で子どもから大人までが机を並べて一緒に学ぶ
ワクワク・ドキドキの「学校ごっこ」
3. 事業費総額 250,000 円
(うち、対象経費 250,000 円)
4. 交付希望額 125,000 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい) ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第5条関係）

団体概要調書

フリガナ	マチセミイズミジッコウインカイ		
団体名	まちセミ・IZUMI 実行委員会		
団体の目的	「誰でも先生」「誰でも生徒」という、老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作る。「ひとりの学び」が「みんなの学び」に。そして、「まちの学び」につながり、和泉市がステキなまちになることを目的とする。		
市内事務所の所在地	電 話		FAX
フリガナ	ニッタ ヨシコ		
代表者氏名	新田 良子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※ フリガナ ニッタヨシコ		電 話
	新田 良子		FAX
設 立 年 月	2019年8月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (回発行) ・ <input checked="" type="radio"/> 無	会員数	15人
メールアドレス			
ホームページ	http://machisemii.com		
主な事業内容	まちセミ・IZUMI の開催		
主な活動の実績	プレまちセミ・IZUMI (12月14日開催予定)		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

<p>申込事業の名称</p>	<p>まちセミ・IZUMI 2020</p>	
<p>事業の必要性 *別紙添付可</p>	<p>（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 本来「学び」は楽しいものだったはずなので、主体的な学びを取り戻し、老若男女が集い、笑顔あふれる新しい形の学びの場を和泉市でも作る必要がある。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果）団体・参加者・地域全体のメリット等 和泉市では、「シティプラザ」や「コミセン」などたくさんの「学びの場」があり、そこでたくさんの方が学ばれています。まちセミ・IZUMIは「ひとりの学び」が「まちの学び」につながるきっかけをつくることで、和泉市をステキな「まち」にしたい。</p>	
<p>事業内容 *別紙添付可</p>	<p>（主な対象者） 和泉市民 先生約 100 人 生徒約 1000 人（のべ人数） （事業実施期間） 令和2年11月23日（月・祝） （事業実施場所） 和泉市立北池田中学校 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか） 同じ教室で子どもから大人までが机を並べてみんなで一緒に学ぶ、1日だけのわくわく・ドキドキ「学校ごっこ」を開催する。「誰でも先生」「誰でも生徒」という老若男女が集い笑顔あふれる新しい形の学びの場を作り、「ひとりの学び」が「みんなの学び」につながるきっかけなることを目指し、事業を取り組む。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月） 12月 から 9月 10月 11月</p>	<p>内容 実施までに、会議を月に1回程度開催する。 先生説明会 ボランティア説明会 まちセミ・IZUMI 2020 開催</p>

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第5条・第12条関係）

収支予算書

事業の名称：まちセミ・IZUMI 2020

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	125,000 円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	0 円	
自主財源	125,000 円	協賛金 125,000 円
合 計	250,000 円	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
消耗品費	45,000 円	文房具、のぼり作成費
印刷製本費	180,000 円	チラシ・プログラム等の印刷 60,000 円 パンフレットの印刷 120,000 円
役務費	15,000 円	ボランティア保険（行事保険） 30 円×500 人＝15,000 円
使用料	10,000 円	備品レンタル
その他		
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	250,000 円	
対象経費	250,000 円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり
上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(はい) ・ いいえ)

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

- ・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。
自主財源を増やし実施します

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。